

## 平成30年度 第2回広島県教科用図書選定審議会 議事録

1 開催日時 平成30年6月6日（水）13：00～16：30

2 開催場所 県庁東館6階 審理審問室

3 出席者 16名

4 欠席者 4名

5 内 容

事務局	<p>(本会議の進行及び資料について説明)</p> <p>この選定審議会の傍聴及び議事録の公開については、第1回選定審議会の際に、第2回は第1回と同様に傍聴及び議事録を公開すること、第3回は議事録のみ公開することを確認済みである。</p>
会 長	<p>本日は、5種類の選定資料について審議を行う。まず、資料1-①、平成31年度使用小学校用教科用図書選定資料（「特別の教科 道徳」を除く）（案）について説明をお願いします。</p>
事務局 (義務教育指導課担当者)	<p>(資料1-①に係る調査研究結果について説明)</p> <p>※ 審議会での資料については（案）段階のものを別途掲載。</p>
会 長	<p>事務局の説明について、質問や意見はないか。</p>
委 員	<p>具体的に御説明いただいたが、提示される教科書に東書が多かったのは何か意図があるのか。</p>
事務局	<p>意図はない。</p>
会 長	<p>他に意見はないか。</p>
委 員	<p>(なし。)</p>
会 長	<p>続いて、資料1-②、平成31年度使用中学校用教科用図書選定資料「特別の教科 道徳」（案）の説明をお願いします。</p>
事務局 (豊かな心育成課担当者)	<p>(資料1-②に係る調査研究結果について説明)</p> <p>※ 審議会での資料については（案）段階のものを別途掲載。</p> <p>&lt;グループに分かれて教科書の閲覧後、協議&gt;</p>
会 長	<p>資料1-②の事務局の説明について、質問や意見はないか。</p>

委員	実際に教科書を見ると発行者によって大きさや重さ、厚みが違ったり、別冊があるものとないものがあつたりすることがよく分かった。
委員	発行者によっては、読み物教材の見出しに考えさせる項目が書かれているものがある。中学生であれば、その授業で何を考えればよいか分かってしまうこともあるので、授業者は発問をしっかりと考えなければならないと思う。
委員	別冊は副教材ではなく教科書となるので、使い切ることが前提となるが、考え議論する授業が求められる中で、50分では書くことに追われるのではないかと心配する。
委員	発問があらかじめ書いてあるので、一定レベルの授業ができる。反面、教員に力が付かないのではないかと。選定資料には、発行者ごとに発問が示されており、比較しやすかった。
委員	教材として、元カープの黒田投手など生徒にとって身近な人物を取り上げるなど、生徒の視点で話題や人物が選ばれている。
委員	いじめについて、直接的に取り上げているものと、いじめという直接的な表記ではなく、例えばiPS細胞から命の大切さについて考えさせるというものもあった。また、教材は心を揺さぶられるようなものであっても、最後の発問がそのよさを生かし切れていないものもあったと思う。
委員	教科書を実際に見ると、文字の大きさや行間の違い、紙の色の違いもよく分かった。そういったことも、選定資料に示されているとよいと思う。
委員	いじめの問題の扱いについて、選定資料16ページには、第1学年についてしか書かれていないが、他の学年はどうか。
委員	選定資料のいじめの問題に関わるページには、教材が示されているが、いじめに当たるのはどれなのか、すぐに分かるものもあれば、「一粒の種」とか「魚の涙」とかよく分からないものもあり、採択される際、印象に差が出るのではないかと。
会長	続いて資料1-③、平成31年度視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部において使用する小学校用教科用図書選定資料(案)(「特別の教科 道徳」を除く)及び資料1-④、平成31年度視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部において使用する中学校用教科用図書選定資料「特別の教科 道徳」(案)について説明をお願いします。
事務局 (特別支援教育課担当者)	(資料1-③及び資料1-④に係る調査研究結果について説明) ※ 審議会での資料については(案)段階のものを別途掲載。
会長	続いて、資料1-⑤、平成31年度使用学校教育法附則第9条の規定による

事務局 (特別支援教育課担当者)	<p>教科用図書 選定資料（案）について説明をお願いします。</p> <p>(資料1-⑤に係る調査研究結果について説明)</p> <p>※ 審議会での資料については(案)段階のものを別途掲載。</p> <p>&lt;グループに分かれて教科書の閲覧後、協議&gt;</p>
会 長	事務局の説明について、質問や意見はないか。
委 員	教科書を選ぶときには、児童生徒の実態や一般図書（平成31年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書）でも系統性を考えていかなければならないと思った。
委 員	調査項目の中に「系統的・段階的に配列されているか」とあるが、この観点での記載がないように感じた。ここについてももう少し知りたい。
委 員	「道徳の教科書として、年間で使用するものがこの1冊で十分なのか」という意見もあった。子供の実態に応じて、繰り返し丁寧に指導することが大切だと思っている。
委 員	一般図書の選定資料は、新たに登載された図書の調査結果が示されており、過去に調査された図書については、一覧に図書名はあるが、調査研究の内容はない。過去の選定資料を県のホームページからダウンロードできることを知らない先生もいると思う。「県のホームページに過去の選定資料を掲載している」旨の一文があるとよいのではないか。
委 員	一般図書の選定資料の5ページには、教科別に一覧で示されているが、具体的な調査結果が示されているページは、発行者順に示されている。調査結果も教科別に記載すると分かりやすいのではないか。
委 員	一般図書の選定資料8ページ、合同出版の表現・表記の欄に、「一部の漢字には振り仮名が付いている」とあるが、実際にはほとんど付いていないと思われる。この表記は適切か。
委 員	合同出版の図書のうち、6番（「絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」）はカラー刷りで見やすいが、5番（「子どもとマスターする45の操体法 改訂新版イラスト版からだのつかい方ととのえ方」）は表がカラーで中身が白黒である。カラーだと目がちかちかする児童生徒もいると聞いた。意図があって白黒なのか、知っていたら教えてほしい。
事務局 (特別支援教育課担当者)	発行者の意図については把握していない。絵本等の一般図書は、障害のある児童生徒の教科書として作られたものではないので、使う側が、児童生徒の実態に合うものを選んでいくものと考えている。
会 長	その他、全体を通して質問及び意見はないか。

委員	(なし。)
事務局長 (豊かな心育成課担当者)	<p>これまで出た御意見、御質問について回答する。</p> <p>まず、いじめの問題の扱いについて、第1学年しか書かれていないが、他の学年はどうかという御質問について。ここには、第1学年を示しているが、第2学年、第3学年についても調査しており、どの学年にもいじめの問題に対応するコラムや教材が位置付いていた。その中でも、第1学年が一番参考になると判断し、第1学年を示している。</p> <p>2点目は、いじめの問題を扱っている教材について、直接的、間接的という表現を使っていることについて。この表現は、客観的、公正・公平の観点から、こちらが直接的、間接的であることを判断するのではなく、各社が出している教科書編修趣意書に示されている記述に則って記述している。しかしながら、御指摘のとおり、教材名だけでは内容が分からないので、選定資料16ページの教材等の例の欄に、教材の概要を一文追記する。</p> <p>最後に、15ページを御覧いただきたい。こちらのページ数は、裏表紙等を入れず、ナンバリングされているページを数えているが、そうすると、教科書目録に示されているページ数とずれてしまう。したがって、御指摘にはなかったが、教科書目録のページ数に合わせて修正する。</p>
事務局長 (義務教育指導課担当者)	<p>先程、文字の大きさ等についても記載があれば参考になるという意見をいただいたが、道徳だけでなく、全ての種目において記載があればよい視点だと思う。しかしながら、限られた紙幅の中で、教科に特化した特徴的な視点をより入れていきたいと考えると難しい面もある。特別支援学校用の選定資料には、文字の書体や大きさについて記載されており、各採択権者には全ての種類送っているの、そちらを参考にさせていただきたい。</p>
事務局長 (特別支援教育課担当者)	<p>調査項目の中に「系統的・段階的に配列されているか」とあるが、この観点での記載がないのではないかと御指摘について、一般図書は、教科書として作られているものではないため、図書の中に段階的であったり、系統性があったりするものは少ないと考えられる。そのような中、9ページの番号7童心社の「ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていいことは」の構成・配列・分量には、「身体的な成長から精神的な成長へ導く」という記述で、段階的な内容であることを記載している。他の図書も見直し、段階的な内容のあるものは記述を修正する。</p> <p>続いて、過去の選定資料が県のホームページに公開されていることを伝える一文があるとよいのではないかと御意見をいただいた。そのような一文を追記する。</p> <p>また、こちらで、3ページの図書の番号と、7ページ以降の図書の番号が異なっていることに気付いた。先程説明したように、3ページの一覧にある、1番「あそびのおうさまBOOKおうさまのたからばこ スタンプポン」は、過去に調査研究済みのため、今回は除いている。そこで、3ページの「あそびのおうさまBOOKおうさまのたからばこ スタンプポン」の番号欄は空欄とし、以降の図書の番号を7ページからの教科別一覧の図書の番号にそろえて修正する。</p> <p>続いて、調査結果を発行者順ではなく教科別に記載できないかという御意見について、教科別にすると、同じ図書が複数回出てくるようになり表記が難しい。また、発行者一覧順にすることで、掲載順にこちらの意図がないことを示すことにもなると考えている。よって、記載の仕方は、この</p>

	<p>まま発行者順とさせていただきたい。</p> <p>最後に、漢字の振り仮名についての御指摘については、股関節の股など、読むことが難しい漢字には振り仮名がついているので、表記はこのままとさせていただきたい。</p>
会 長	<p>では、今いただいた回答のように選定資料を修正していただき、会長が内容を確認した後、県教育委員会に答申し、市町教育委員会に配付したいと思うがよいか。</p>
委 員	<p>よい。（全委員）</p>
会 長	<p>以上で議事を終了する。これより、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>選定資料については、会長から答申後、教育委員会において決定する。その後、印刷・製本したものを採択関係者に送付するとともに、ホームページで公開する予定である。</p> <p>今後の審議会の予定等について述べる。第3回選定審議会は8月3日に開催する予定である。</p>